

「車内置き去り防止支援システム」を開発 ～日産自動車の車両に採用～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕 裕美）は、「車内置き去り防止支援システム」を日産自動車株式会社と共同で開発し、日産自動車株式会社の車両へ採用されました。

近年、幼稚園バスなどで園児が通園バスに取り残される事故が相次いで発生しておりました。それらの状況を踏まえ昨年、2023年4月からの幼稚園や保育所等で使用する全ての通園バスへ置き去りを防止する安全装置を設置することが義務付けられました。

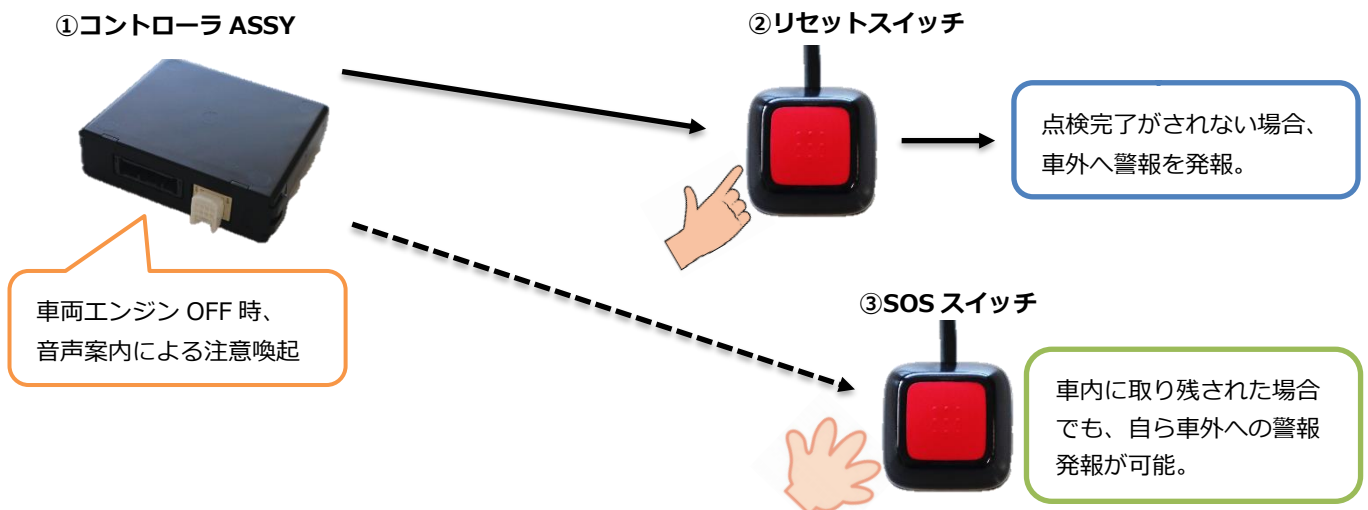
当社としてもこの痛ましい事故を二度と起こさないようにすべく、従来の製品開発で培ったスイッチ技術やエレクトロニクス技術の知見を活かして少しでも早く一人でも多くの子供たちの命を守るため、現在既に世の中で走行している車両にも後付け設置が可能でかつシンプルな操作で即時に現場活用ができる「車内置き去り防止支援システム」を開発いたしました。

今後も東海理化は、世の中の不安やトラブルから大切な命を守り、人々の安心・安全を支える製品の開発に取り組んでまいります。

【車内置き去り防止支援システムについて】

「車内置き去り防止支援システム」の構成

- ① コントローラ ASSY：車内搭載のスピーカーから音声案内を流し、ドライバーへの注意喚起を行う。
- ② リセットスイッチ：ドライバーが車内点検完了時にボタンを押し、音声案内を停止させる。
- ③ SOS スイッチ：車内取り残されなどの緊急時に車外への警報を鳴らし、外部へ助けを求める。



<参考>

【搭載予定車両】（2023年6月～）

- ・日産自動車株式会社 車種：キャラバン（幼児通園専用車）、シビリアン（幼児通園専用車）

※搭載時期および搭載車両は変更の可能性がございます。

【会社 URL】

- ・株式会社東海理化：<https://www.tokai-rika.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・株式会社東海理化 総務部広報室（0587-95-5211）